

獣医学の進歩もめざましく、専門病院、高度医療センター、24時間救急病院も充実して様々な連携ができるようになってきました。オーナー、動物そして動物クリニックにとって、より良い獣医療の形が生まれてきていることを感じるこの頃です。勉強しなくてはいけないことも増えて、追いついていくのが大変ですが、コツコツ自分のオリジナリティを見失わずにその流れについていきたいものです。そんな獣医療の一次病院として工夫することにより、より快適に診療できることはたくさんあります。いろいろアイデアを共有して、小さなことでも驚きや感動が生まれると楽しいと思います。



スタートの春、いつでも人生のスタートとは「今」と思ってLet's go !

2022年度SAMIウェビナーセミナー（続） 動物ライター 伊藤悦子

さまざまな情報が集まって大変な中、市場先生に紹介してもらったこの方法を導入し、便利さを実感されて、分かりやすく解説していただきました。



『すぐに見つかるデータ保存：ScanSnapとEvernoteを利用して』

清水邦一先生

清水動物病院（神奈川県横浜市）

ScanSnapは情報を収集するスキャナーで、Evernoteは情報をクラウド上の保存する場所です。

【ScanSnapの利用前】

今の時代、仕事はもちろん日常生活でもさまざまな情報が入ってきます。あふれるほどの情報は次のような状況になりがちです。

- ・ 膨大な情報が蓄積：ちっぽけな情報～重要な情報などさまざまなものが蓄積されていく
- ・ いろいろな方法で保存：分類整理に時間がかかり、保存の場所も散らばる
- ・ 探す：いざ探そうとすると「すぐに出てこない・見つからない」だけでなく「捨てた」などトラブルも。

【ScanSnapとEvernote利用にチャレンジして】

そこで、清水先生はクラウド保存（インターネット上）を2年前から始めました。WiFiに接続したScanSnap（iX100）で資料を読み取るだけで、ScanSnap cloudを通して、関連付けしたEvernoteに自動で保存されます。手書きの文字もデジタルも、情報はすべてEvernoteに入れています。

Evernoteを開いてキーワードを入れて検索すれば、その言葉が入った文章などのデータや資料がすぐ表示されます。この方法で2年の間に900件弱の情報を保存、今はもっと増えているそうです。

利用前は「ここにあったはず」「本を探す」「資料の袋から探す」など手間がかかっていました。

なお、ScanSnap cloudは名刺管理ソフトや会計ソフトなどさまざまなものにも関連付け可能だそうです。

【準備】

ここで、ScanSnapとEvernoteを使うにあたり、準備することについて詳しく説明がありました。

ScanSnap iX100 (PFU社)： 両面同時読み取りができるiX1300など上位機種もあるが、iX100は携帯できるので便利

パソコン：・管理ソフトScanSnap Home インストール

・Evernoteのインストール（プランは、無料・パーソナル1月680円・プロフェッショナル850円）。プランの違いは「ひと月にできるアップロードの量」です。清水先生は「パーソナル」を利用しています。容量は制限なし。

・ScanSnap Cloudの設定では、①ファイル形式を「検索可能なPDF」を選択②保存先を「Evernote」にします。

スマートフォン：

2つのアプリをダウンロードします。

ScanSnap Cloud ・ Evernote



コンパクトなScanSnap iX100

【方法】

具体的な資料保存方法の手順は次の通りです。

① iX100で一枚ずつスキャンする

- ・Wi-Fiで直接クラウドに送信後
- ・自動的にEvernoteに送信保存

② スマートフォンでスキャン

- ・スマートフォンのScanSnap Cloudを立ち上げて写真撮影
- ・撮った画像を選択し、余分なところをトリミングなど画像処理
- ・送信するとEvernoteに自動的に送信

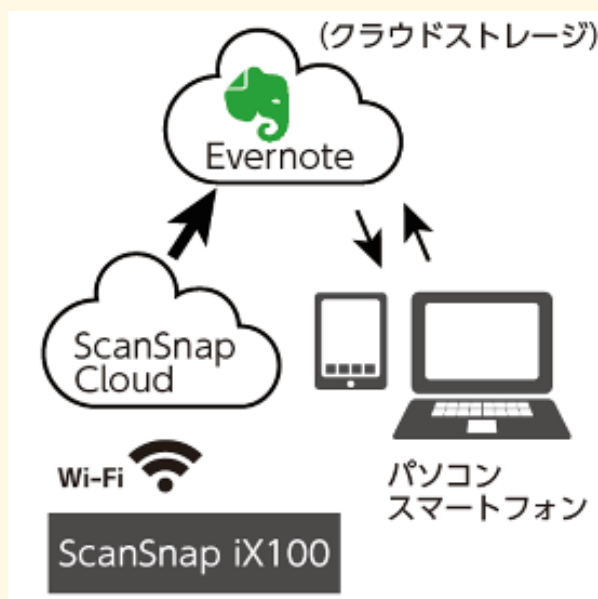
* 先生が出先でよく使っている方法です。

③ Evernoteに直接データをコピーして貼り付ける方法

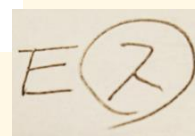
貼り付けたあとは、あとで見やすいようにタイトルを付けるようにします。

④ ネット上の情報を取り込む

- ・GoogleChromeなどブラウザの拡張機能にEvernoteを設定すると
- ・HPで気に入ったページがあったとき、Evernoteのアイコンをクリック→Evernoteに保存される。これは非常に便利だそうです。



Evernote 内の構成



【利用のポイント】

・何でも取り込むが、取り込みが終わったペーパー資料には「済み」の手書きマークを記入

・基本的には分類はしない

・自動で入るタイトルは分かりやすいように修正する

・ゆとりあればたくさんの機能（写真・音声・スケッチなど）が使える
さらにタグを付けたりフォルダに入れたりできるが、しなくても便利に使えるのがこの方法のメリットです。

参考図書を紹介いただきました。①「ズボラな僕がEvernoteで情報の片付け達人になった理由」倉下忠憲著、シーアンドアール研究所 ②「ゼロから始めるScanSnap Cloudスマートガイド」リンクアップ著、技術評論社

Q&Aでは、「Cloudの容量はどのくらい？」⇒制限なし。「ScanSnap アプリを使って、スマホで撮影した画像もデータとして保存できる？」⇒YES。など質問がありました。さらに「セミナーなどで大変便利に使っているので推奨する」「サービス終了が怖いのでバックアップが必要」「EvernoteとOnedriveの2つ使っている」などの声もありました。

仕事でもプライベートでもたくさんの情報が入り保存場所も散乱しやすい中、大変便利で効率的な方法を教えていただきました。（伊藤悦子）

海外で活躍する獣医師：瀧澤遥絵先生の「北米獣医師免許試験取得編」



インタビュアー：第一三共ケミカルファーマ 獣医師 伊藤 隆

今回は、グローバル化がささやかれている中で海外において活躍されている獣医師をご紹介します。第1回目は、米国に留学してわずか1年後に北米獣医師免許試験に合格し、米国の動物病院で現在勤務されている瀧澤遥絵先生をご紹介します。

日本でなく米国で獣医師のライセンスを取得したいと思われた動機は何ですか？

獣医療の先進国である米国で臨床留学をするのが昔からの夢でした。本格的に米国で勉強したいと思い始めたきっかけは、獣医学科6年生の時にBrookfield Zooという、イリノイ州シカゴ近郊にある動物園Externshipに参加させていただいた時です（写真1）。動物園獣医専門医達の指導の下、動物園動物の麻酔管理、入院、治療管理に参加させていただき、貴重な経験をさせていただきました。先生方の幅広い、そして深い専門知識や教育に熱心な姿を見て、是非、米国の学生に交じって臨床留学させていただきたいと思いました。

米国で臨床留学するにはいくつか方法があります。Internshipやfellowship, residencyに応募する方法もありますが、卒業してすぐの臨床経験が少ない私にとってハードルが高く、また外国人としてビザ確保が難しいので、私にとって一番目指しやすいのが

PAVE (Program for **A**ssessment of **V**eterinary Education **E**quivalence) または **ECFVG** (Education **C**ommission for **F**oreign **V**eterinary **G**raduates) というプログラムでした。これらのプログラムは学生ビザを利用して参加でき、修了すれば北米獣医師免許試験を受けてライセンス取得ができます。

PAVEでは、日本の獣医学科を卒業見込みの者が英語とPAVEの一次試験を通過していれば北米獣医師免許試験 (**N**orth **A**merican **V**eterinary **L**icensing **E**xamination, 以下 **NAVLE**) を受けられるとともに、米国の獣医学4年生とともに一年間臨床研修できるという制度です。PAVEプログラムを受け入れている獣医大学は全米32校の内、Oklahoma State University, University of MissouriとLouisiana State Universityの3校のみです。また、これらの3つの大学に興味のある科がないのがっかりするかもしれません。

Oklahoma State UniversityでのNAVLE取得の為の勉強において、日本とのギャップとご苦労された点は何ですか？

ギャップとしてはOklahoma州自体に住んでいる外国人が少ないため、少し孤立感を感じたことです。しかし、ほかのPAVEの学生にはアジア系の学生も多く、彼らはいまでも貴重な友人です。一番苦労した点はやはり大動物関連の知識不足と獣医専門英語を聞き取ることでした。米国の学生たちが三年かけて勉強した知識をその場で復習し何とか米国の学生たちについていくのに必死でした。

Oklahoma State Universityを選んだ理由は、一番すぐに始められて、他の学校と比べて学費も安かったからです。3校の比較をまとめると次のようになります。

項目	Oklahoma State University	University of Missouri	Louisiana State University
年間学費	\$ 41,000/年間	\$ \$ 71,910/年間	\$ 56,526/年間
年間PAVEプログラムの受け入れ回数	年に3回受け入れている	年1回しか受け入れがない	年1回しか受け入れがない
PAVEプログラムを受け入れる人数	年に3回3~5人ほど?	?	?

PAVEの応募資格とPAVEの一次試験の内容について教えてください。

PAVEは、日本での獣医学科卒業見込みと英語力があれば誰でも応募できます。英語力の証明を応募書類に込め、次にPAVEの一次試験 (**Q**ualifying **S**cience **E**xamination 以下**QSE**)を受けます。一次試験は日本でも受けられ私も日本で受験しました。一次試験(QSE)を合格すればNAVLEを受けることもPAVEを受け入れる獣医大に応募することも同時にできます。

QSEの内容ですが、コンピュータでの多項選択式の問題です。220分かけて行います。QSEは225問あるうち、70%正解しないと合格できないようです。

NAVLEについては、VetprepやZukuReviewという獣医国家試験に特化したオンライン教材が購入でき、日本の国試よりも勉強がしやすかったので、山を張って失敗する心配がより少なかった気がします。

私はVetprepを利用してQSEもNAVLEも勉強しました。VetprepとZuku Reviewのホームページは下記です。

- ・ [VetPrep | The Most Trusted Way to Prepare for the NAVLE®](#)
- ・ Zuku Review <https://zukureview.com/>

先生がご経験された北米獣医師免許 (NAVLE) 取得の為のステップを教えてください。

ステップのフローチャートは次のようになります。(AAVSBのウェブサイト <https://www.aavsb.org/pave/>でもstep by stepで方法が分かりやすく説明されています)

1. PAVEプログラムへの応募

- 応募資格：・日本の獣医学部卒業見込み (もしくは卒業)
・英語のスコア基準

IELTS : overall 6.5, listening 6.5, reading 6, writing 6, speaking 7
TOEFL : reading 18, listening 26, speaking 26, writing 20



2. QSEを受験し、合格

QSEは日本で受験可能です。PAVEの一次試験(QSE)受験に合格すると
・北米獣医師免許試験 (NAVLE) の受験資格が得られる
・Oklahoma State University, Louisiana State University, University of MissouriのPAVEプログラムへの応募資格が得られる。いずれかの大学に応募し、受け入れてもらう。



3. 米国の獣医大4年生と一緒に一年間臨床研修 (= **ECE**) **E**valuated **C**linical **E**xperienceの略。

無事すべての科 (内科、外科、麻酔科、眼科、ICU、エキゾチックアニマル科、大動物内科・外科、その他) での研修をクリアできればPAVE修了証を取得できる。



4. NAVLE試験受験・合格

受験の条件：PAVEの一次試験 (QSE) に合格していること。



5. 米国で働きたい州の獣医師試験受験・合格

例：テキサス州の動物病院勤務だとテキサス州の獣医師試験に合格しないと働けない（写真2）。



6. PAVE 修了とNAVLE取得のメリット

- ・PAVEを修了しNAVLEに合格すると、米国以外にカナダやオーストラリア、ニュージーランドでも勤務可能となります。
- ・米国で動物病院の勤務獣医師の年間平均賃金が日本の病院勤務よりも高いです。
- ・獣医療の発展した国で専門医取得を目指したり、興味ある分野をより深く追求しやすいです。

Oklahoma State Universityで米国の獣医大4年生と一緒に1年間教育を受講した時に使用された教材はどんなものでしたか？

教材は教科書もたくさん用いましたが、専門医の先生方が作成したパワーポイントが勉強のメインになっていました。これが一例です（写真3）。

今後、海外で獣医ライセンスを取得し働きたいと考えている若手獣医師や学生さんへのアドバイス。米国へ留学する前に日本でやっておくべき事について簡単に教えて下さい。

英語力：英語力は勉強についていくためにも、他人とコミュニケーションをとるためにも非常に大切です。IELTSで7以上のスコアがなければ応募ができません。逆にこれをクリアさえしていれば、勉強用websiteや資料がかなり充実しているのであとは必死に勉強していれば何とかあったというのが個人的な感想です。

学費面：学費がたった一年とは言えかなり高額なので、さらに生活費とあわせるとかなりお金を準備してから行く必要があります。私は、留学前に平和中島財団様に奨学金の申請（私の場合は当時月額20万円＋往復渡航費で340万円）をいたしました。この奨学金は返済不要です。

Externshipへの参加：

Externship は下記のウェブサイトから検索できます。参加可能か、まずはメールを送ってしてから応募するのがお奨めです。

<https://myvetlife.avma.org/current-student/your-career/student-externship-locator>



写真1

研修を実施したBrookfield Zoo



写真2

テキサス州の獣医師免許証

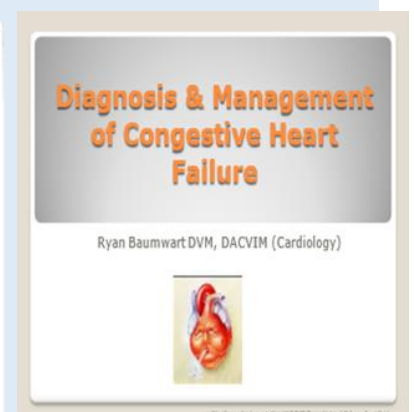


写真3.

Oklahoma State University
で使用したテキスト

最後に瀧澤遥絵先生のご経歴をまとめました。

実施年	項目
2012年4月	東大理科Ⅱ類入学
2014年4月	東大獣医学科入学
2015年4月	高度医療科学研究室 入室
2017年7月	獣医大学6年生の時、イリノイ州シカゴ郊外のBROOKFIELD ZOOでExternshipを体験 (写真1)
2018年2月	PAVE一次試験(QSE)合格(日本にて受験)
2018年春	日本での獣医師免許取得
2018年4月	留学に当たっての奨学金を申請受理
2019年1月	オクラホマ州立大獣医学部留学開始
2019年秋	NAVLEの受験申し込み
2019年11月	NAVLE受験(年2回、春と秋に実施)
2020年1月	北米獣医師免許試験(NAVLE)合格
2020年2月	ECE完了、PAVE修了証受領
2020年3月	テキサス州の獣医師試験合格 (写真2)
2020年3月	テキサス州の動物病院に勤務
2022年6月	グリーンカード取得

取材後記

今回、北米獣医師免許試験の取得方法の一例として瀧澤先生を紹介させていただきました。先生からのインタビュー記事は、今後留学を希望される方々にとって大きな道標になるかと思います。また、北米獣医師免許試験を最短で取得されたファーストペンギンではないかと思います。今後は、米国の獣医診療の状況についてご紹介出来ればと思います(伊藤 隆)

お勧めの本「獣医さん、聞きづらい「猫」のこと、ぜんぶ教えてください！」

(獣医師) 宮下ひろこ著、日東書院、¥1540

後輩でお友達、やさしい獣医師、カウンセラーでもある、宮下ひろこ先生の本が出版されました。見積書、ワクチン、漢方薬、サプリ、Zoonosis、AIMたんぱく、FIPなど、新情報、先生選び、困った飼い主さん・・・について、読みやすく、わかりやすく書かれています。動物、飼い主さん、動物病院、社会の面で、偏りがなくバランスのとれた本です。

先生のお人柄が出ていて、批判的なこともなく、伝えたいことをさらりと穏やかにまとめてあって、読んでいてほっとする一冊です。



動物医療発明研究会「年会費」お知らせ

お世話になります。おかげさまで少しずつ会員も増加して、楽しく活気のある会になっています。今年度の会費納入の時期になりました。お手数ですが、本年度へ更新手続きとして振り込みをお願いいたします。

年会費：¥4,000

2023年4月～2024年3月分
同封の振込用紙にて
4月末までに郵便局へ
お願いいたします。

動物医療発明研究会のホームページできています。登録もできます。
会員の病院・施設名、〒、住所、TEL、FAX、ホームページURLを掲載します。
ご希望の場合は、件名に「SAMI-HP掲載希望」と明記して、下記のメールにお願いします。
hp@ispecial.co.jp (株)アイ・スペシャル運営受託



SAMI NEWS 64号
発行日 2023年4月
発行所 動物医療発明研究会事務局
発行人 会長 清水 邦一
事務局 230-0061横浜市鶴見区佃野町3-3
清水動物病院内 清水宏子
TEL(045)583-3738 FAX(045)583-3594

